

東根の〇〇〇〇〇〇

上（課題設定から6時間目導入まで）

「さくらんぼ」



「大けやき」



「べに花」



「ラ・フランス」



ラフランスの種類と販売時期

		
▶ ラフランス 11月上旬～12月下旬	▶ ゴールド・ラフランス 12月上旬～1月中旬	▶ スーパー・ラフ 11月中旬～12月下旬

<〇〇〇の授業①> 10月11日（金）

『東根で一番有名な物は？』……全員に聞きました。

「さくらんぼ」と言う人が15人で、トップでした。
さくらんぼを家で作っている人が10人
親せきで作っている人が10人 もいます。
さすがにたくさんの方がつくっているものです。

10/11 霧

東根

日本一

さくらんぼ

15人

大けやき

11人

べに花

3人

ラフランス

1人

山形県は日本一

東根市は山形一

家…

10人

親せき…

10人

50万

x 10本

500万

- 現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題
- 地域や学校の特色に応じた課題
- 児童の興味・関心に基づく課題

<さくらんぼの授業①> 10月11日 (金)

【なぜ東根では、たくさんさくらんぼをつくっているのか？】

★気温がいいから (綾さん)

★土がいい (勇貴くん) 土の水はけがいい (元木くん)

★地形がいい (葵さん)

★農家の人が多い (可奈恵さん) やる気がある (綾さん)

いろいろな考えがでてきました。

そして「昔は田んぼが多くて、今はさくらんぼをたくさんつくっている。」
という意見がたくさんでました。そこで、

【さくらんぼは、ふえているのか？】 となって、授業が終わりました。

10/11 霧

東根

日本一

さくらんぼ 15人

大けやき 11人

べに花 3人

ラフランス 1人

山形県は日本一
東根市は山形一

家... 10人

親せき... 10人

50万
× 10年
500万

なぜ東根で？

- 気温がいい (知)
- 土がいい (たゆ) の水はけがいい (元)
- 地形がいい (葵)
- 農家の人が多い (可) やる気がある (知)

昔は田が↓今はサクランボ

フランスから
明治6年
神町で (知)

ふえて
いる

雨霧霜雲・雷雪霧雨

10月11日(金)～13日(日)

お母さんのじっかの人にきいてみました。どうして東根ではさくらんぼをたくさんうえるようになったのか？と聞いてみました。そしたら、気温がいいのと、お金になるのと、とくさん物だからと、土がいいからと、地形がいいからだそうです。農家の人が多いからはちがうそうです。

ナポレオンというさくらんぼは、山形県が一番多くとれるそうです。

昔は田をたくさんつくっていた ⇒ 今はさくらんぼ

これはどうしてかと聞きました。10～15年前、米を作っていたが、米が多くとれすぎて、米をやすませて一番のお金になるさくらんぼをつくったそうです。でも、米をやめたわけではないそうです。

お母さんのじっかでは、ぶどう、さくらんぼ、お米を作っています。ぶどうは、1500～2000円でうっています。さくらんぼは、1 K箱で5000円、2 K箱7000～8000円くらいだそうです。つぎにお米は60Kで 13000円するそうです。(お店では) さくらんぼは、すぐ～くねだんが高いんだなあと思いました。(井上奈美さん)

みなさ～ん、お元気です～か。わたしはしってしまったのよ～ん。神町でさいしょ米を作ろうとしたんだけど、水はけがよくて米ができませんでした。そこで、神町で農家の人がりんごを作ってみて、こんどはさくらんぼになったそうです。そしてさくらんぼを育てる所で、大事なものは、土地と気候でした。それに土地は水はけがよくて、土のつぶがあらく空気と通りやすいいたいらな所がいいからだそうです。

(矢作 葵さん)

市町村名	10月11日	10月12日	10月13日
寒河江市	286kg	1500t	
東根市	253kg	3070t	
天童市	199kg	1560t	
村山市	188kg	840t	
河北町	145kg	834t	
山形県市	131kg	702t	
上山町	99kg	625t	
南陽市	83kg	449t	
米沢市	35kg	181t	
山の町	35kg	182t	

東根がどうしてさくらんぼが日本一になのかを書きます。

それは、日本にさくらんぼが入ったのは、1872年。山形には1875年にリンゴ、ぶどうとともにさくらんぼも入ってきました。

1912年。東根市のさとうえいすけという人が新品種の「さとうにしき」というさくらんぼを生み出し、今でも最ゆうりょう品種となりました。だから東根のさくらんぼが有名になったと思います。また、げん反といって田んぼをへらしてかじゅや野さい作りを進める生産調整がおこなわれるようになったから、さくらんぼの作る量がふえた。さくらんぼとよなしは全国1位、ぶどうが2位、りんごが3位、ももが4位となっています。さくらんぼは、作る土地で全国の61パーセント、しゅうかく量では72パーセントにもなる。また、気温では冬は雪がふり寒く、夏は高温になります。この温度の変化がよく年の花芽を作るのに必要だといわれています。

東根が、なぜさくらんぼの日本一になったかは、げんたんで田んぼがあまり、その場所にさくらんぼを植え、おいしい「さとうにしき」を作りだし、土地と気候があったからだだと思います。

(板谷 翔くん)

おばあちゃんに、昔からさくらんぼをうえていたのか？ときいてみました。そしたら、昔はさくらんぼじゃなくて、むぎをそだてていたといっていました。それに、昔は田んぼもたくさんあったそうです。それで、わたしは、どうして東根でさくらんぼがつけられるようになったかきいてみました。それは、土地と気こうがいいからだそうです。土地は水はけもよくて、空気のとおりやすいところで、気こうは冬は雪がふる寒いとちで、夏はあったかいところだから、そだてるようになったんだそうです。山形県もそうだったんだけど、全国てきにみて、さくらんぼがとれるところは、やっぱり冬は雪が多くて、夏は暑い地方がほとんどです。

ミステリーれっしやにいったとき、庄内地方に田んぼがいっぱいありました。

(辻村美穂さん)

10月11日(金)～13日(日)

お父さんからきいたのだけど、昔は田んぼは今より多かったそうです。なんと、

「昔は、田んぼよりたばこ畑がいっぱいあって、作っている人も多かったんだけど、作っている人がへってきてそこをさくらんぼにしたんだよ。」

と言っていました。ということは、さくらんぼ畑がある所は、ほとんどタバコ畑ということになりマウス。すごいことがわかった。
(石川 怜くん)

おじいちゃんの話

昔は、田んぼとざっこく（タバコ、麦、大豆など）を作っていたそうです。今は米の減反で田に果樹を植える人が多くなったそうです。さくらんぼの他、果物は地形がいいからよく育つそうです。

さとうにしきをつくった人は、東根の人だそうです。神町の天香園で広めたそうです。その人の名前は佐藤さんという人だそうです。
(太田ちひろさん)

きょうおばあちゃんに、なんで山形でさくらんぼをつくっているかきいてみたら、土ときおんととちがさくらんぼにちょうどいいからと言っていました。ぼくは、ほかの県はそだてにくいんだなあとと思いました。
(高橋勇貴くん)

ぼくは、しんせきにどうしてさくらんぼをうえたか、でんわでできました。それは、もうかると言っていました。だから、いえがりっぱになったと言っていました。ぼくは、さくらんぼはけっこうもうかるとおもいました。
(森 渉くん)

ぼくは、いとこのうちにさくらんぼがあって、それをみてきました。そしたら8本ぐらいありました。そして、**前さくらんぼが2本たっているところが畑にかわっていました。**ぼくは、なんでかえるのかなあと思いました。だけど、いとこの人は、さくらんぼを売のをやめて、食べる分だけそだてているのかなあと思いました。
(鈴木優斗くん)

なぜさくらんぼをつくらないのか。

手いれがたいへんだからと言っていました。さくらんぼのもぎとりは、手でもいで、きかいではもげないから、雨がふるまえにビニールをはらないといけないし、雨でさくらんぼがわれるといけないから、ビニールをするのです。だから、ひびがはいっているんだなあと思いました。しょうどくはしないといけないとおばあちゃんが言っていました。
(藤本雄大くん)

東根は土はいいの？

土は、よくない。さくらんぼの木にあっている。水をかけないとかじゅは育たない。東根の土のえいようがあまりなくてもそだつのかなあと思いました。
(天野まいさん)

新しい単元の導入であるにも関わらず、家族からの聞き調べだけでなく、祖母や親戚の家にまで行って、電話を使って、本を使って、かなり詳しく調べてきている。

子どもたちの調べたものはあくまでも個人的なものである。これから市全体の動向へと広がっていく。当然、そこには自分の調べた内容と矛盾することがでてくる。それらを間違いとするか、追究のエネルギーとするかは、教師の指導はもとより、その学級集団の高まりに大きく左右されることになる。

<さくらんぼの授業②> 10月14日 (月)

10/14 鉄道の日

東根のさくらんぼ

ふえているか？

田んぼ → 畑 かれた？
サクランボ

りんご... 寒い地方

① 農家の数 入っている ⑤
⑥

④ 木を切って → 畑
おじいちゃん 2本
入った

④ 田 →
⑤ 水はけがよすぎて
田はダメ
りんご → サクランボ

⑥ 手いれが大へん
もむとりは人の手で
雨がふるとみみかほいる
天気かき シート 高り⑥

土地が
② ふえた

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

なぜ育つか？

⑤ 気温があう
⑥ 土地・気候
水はけがよい④
⑦ 地形

東根市の
⑧ 1912年
佐藤栄助
サトウニシキ
最高

③
昔

ナボロン

【さくらんぼをうえている土地はふえているか？】

これには、いろんな意見が出てきました。お家の人から聞いてきたことが、たくさんだされました。

「米があまっている。」

「じゃがいも畑をさくらんぼ畑にした。」

田・畑 ⇒ さくらんぼ

学習課題・探究課題

授業① 「東根で一番有名な物は？」

「なぜ東根では、たくさんさくらんぼをつくっているのか？」

「昔は田んぼが多くて、今はさくらんぼをたくさんつくっている。」

- ★気温がいい
- ★土がいい
- ★地形がいい
- ★農家の人が多い

「さくらんぼ（をうえている土地）は、ふえているのか？」

授業②

「なぜ東根では、たくさんさくらんぼをつくっているのか？」

やめている人もいる

前は、ナポレオン
今は、さとうにしき

- ★気温があう
- ★土地・気候はいい
- ★水はけがよい
- ★地形がいい

「さくらんぼの土地はふえているのに、農家の数はへっている？」

市役所へ

授業③ 「農家の数はへっているのか？」 「さくらんぼをうえている土地はひろがっているのか？」

「昔のさくらんぼは？」

市役所へ

田んぼは畑にできるのか？
ナポレオンはどうやって食べていたのか？
さくらんぼをうえている土地はふえているのか？

授業④

「どうして全部さとうにしきにしないの？」

市役所へ

授業⑤ 【さくらんぼの移り変わり】

学習課題・探究課題

授業① 「東根で一番有名な物は？」

- ★気温がいい
- ★土がいい
- ★地形がいい
- ★農家の人が多い

「なぜ東根では、たくさんさくらんぼをつくっているのか？」

「昔は田んぼが多くて、今はさくらんぼをたくさんつくっている。」

「さくらんぼ（をうえている土地）は、ふえているのか？」

授業②

「なぜ東根では、たくさんさくらんぼをつくっているのか？」

やめている人もいる

前は、ナポレオン
今は、さとうにしき

- ★気温があう
- ★土地・気候はいい
- ★水はけがよい
- ★地形がいい

「さくらんぼの土地はふえているのに、農家の数はへっている？」

市役所へ

授業③ 「農家の数はへっているのか？」 「さくらんぼをうえている土地は

今は、さとうにしき

1950/12/14

「さくらんぼの土地はふえているのに、農家の数はへっている？」

市役所へ

授業③ 「農家の数はへっているのか？」 「さくらんぼをうえている土地は
ひろがっているのか？」

「昔のさくらんぼは？」

市役所へ

田んぼは畑にできるのか？
ナポレオンはどうやって食べていたのか？
さくらんぼをうえている土地はふえているのか？

授業④

「どうして全部さとうにしきにしないの？」

市役所へ

授業⑤

【さくらんぼの移り変わり】

<さくらんぼの授業②> 10月14日 (月)

10/14 鉄道の日

東根のさくらんぼ

ふえているか？

田んぼ → 畑 かわった？
サクランボ

りんご...寒い地方

① 農家の数 入っている ⑤
⑥

④ 木を切って → 畑
おじいちゃん 2本
入った

② 田 →
③ 水はけがよすぎて 田はダメ
りんご → サクランボ

⑦ 手いれが大へん
もむとりは人の手で
雨がふるとみみかほいる
天気まかせ シート 高い⑧

土地が
② ふえた

④ ジョがイモ畑 米をへらす
⑤ 米の減反で田
⑥ 10年前 田
米が多くとれすぎて
一番お金になる
⑧ 米のちやうせい

⑨ 低い土地...米作り
東根は川の木が
地下水になる もぐり 水がなくてもつくれる

⑩ 交通が便利
短時間で
東京へはこえる

なぜ育つか？

⑪ 気温があう
⑫ 土地・気候
水はけがよい⑬
⑭ 地形

東根市の
⑮ 1912年
佐藤栄助
サトウニシキ
最高

③
昔
ナボレオン

また、土地のようすでは、

「低い土地は米作りにあっているけど、東根は水が下にもぐってしまっていて、米作りにはあわない。」

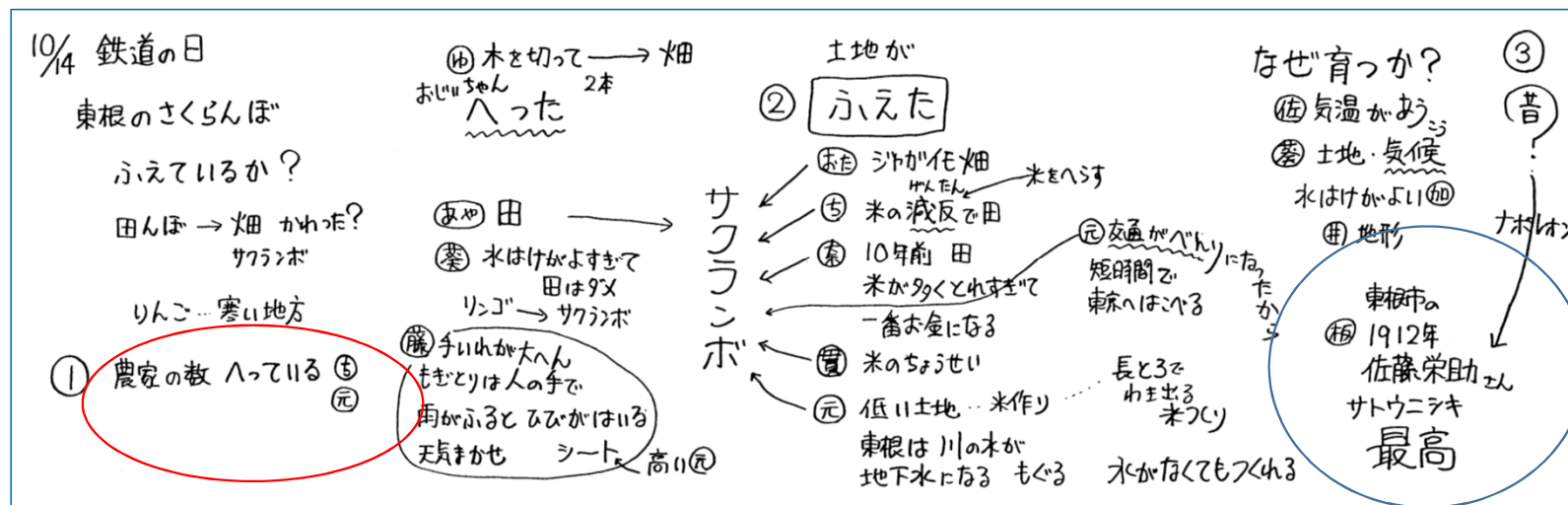
という、元木くんや葵ちゃんの見聞もありました。
いろんなことがわかってきました。

その一方で、優斗くんと藤本くんの
「さくらんぼづくりをやめている人もいます。」

という意見もありました。

さくらんぼづくりがいかに大変なのかということがわかりました。

<さくらんぼの授業②> 10月14日 (月)



【なぜ東根では、
さくらんぼが育つのか？】

- ★ 気温があう (佐藤さん)
- ★ 土地が・気候はいい (葵さん)
- ★ 水はけがいい (由加さん)
- ★ 地形がいい (奈美さん)

「前はナポレオンというさくらんぼだったんだよ。」
という話になりました。
「今は、佐藤栄助さんがつくったさとうにしきだよ！」
板谷くんがいました。

「ナポレオンの前は？ 昔はなんだったんだろう？」

さくらんぼの種類に話がいききました。

「さくらんぼの土地はふえているのに、農家の数はへっている。」
ちひろさんと元木くんが言っていました。
本当かなあ？ ちょっとおかしいなあ？

どうやら、さくらんぼはたくさんうえられるようになってきたということが
わかってきました。
そして、あたらしい？ がでてきました。さて……

10月14日(月) 授業後の調べ学習<日記から>

どうして佐藤錦をつくったか？
日持ちがいい。あまみがある。しゅうかくは6月中～下旬である。ほかの作業とのじゅんじょがいい。
年々農家はへっているのに、なぜさくらんぼはふえ続けているのか？
果樹を育てる農家の人もいるかもしれないけど、果樹より田んぼややさい畑をやめる人の方が多い。
佐藤錦の前のさくらんぼは？
ナポレオン、ビング、日の出、高砂、ジャボレー、大紫、黄玉。
ナポレオンは、佐藤錦の母。黄玉は父。（太田ちひろさん）

ちひろさんは、さくらんぼの専門書「日本のさくらんぼ」（山形県経済農業協同組合連合会）をもってきています。大人の本なのに、よく使えますねえ。

東根市のさくらんぼは、ぜんこくトップの生産量です。さとうにしきの前は、ナポレオンや、あまくてもやわらかくていたみやすいさくらんぼばかりなので、東根のさとうえいすけさんは、いろいろ考え、ナポレオンと黄玉をくふうして、黄玉のようにあまくてナポレオンのように実がかたいものをけんきゅうして作ったそうです。
うちの人さくらんぼののうかに手つだいにいった時のことをききました。おもにさとうにしきで、あたらしいなえ木もつぎつぎに植えて育てていたと言っていました。
昔は、さくらんぼの木はたかくて、上のさくらんぼをとる時、こわかったけど、今はビニールハウスをかけるから、どの木もひくく、いっしょのたかさになっているのです。
（小野智美さん）

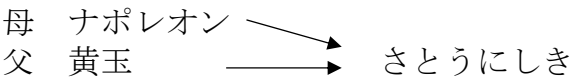
おばあちゃんにききました。
どうして山形だけさくらんぼがゆうめいなのか？
それは、さくらんぼをつくるのに気こうがあうから。さくらんぼのひんしゅのよいものが、たくさんあるから。
昔は、さくらんぼはなかった。
さくらんぼはふえているか？
それは、ふえていると言っていました。ぼくは、ゆうめいだからふえているんだなあと思いました。
さとうにしきのまえは、なにがはやっていたのか？
それは、1号がひの出、3号がジャボレー、8号きだま、10号ナポレオン。それから、さとうにしきが、大正3年にさとうえいすけさんがかいりょうして、さとうにしきと名前をつけたのです。
1号～10号までは、外国からきました。それは、明治20年に1号がきました。
1号～10号を、**さとうえいすけさん**がけんきゅうして、さとうにしきをつくったそうです。すごいけんきゅうをしたんだなあと思いました。外国のさくらんぼを日本になおすなんてすごいと思いました。
（藤本雄大くん）

市役所へ ①

今日、学校でわからないことがあって、大ごし君と林君と森君とぼくで市役所にいきいてきました。さくらんぼについて、いろいろなことについていきいてきました。

農家の数は、3275けん。農家だけをやっている所は 436けんです。

さくらんぼは、ふえている。わけは、田をへらしているから。さとうにしきを作る前は、ほとんどナポレオンというさくらんぼを作っていたそうです。



田んぼがへったのは、農業がきびしい。たてものができた。ぼくの家回りも10年ぐらい前は、りんご、さくらんぼ畑でした。そこに市役所やヨークベニマルができた。

田んぼからさくらんぼに変わったのは、げん反とって、米はあまり作るなと国の方から言われた。

さとうえいすけさんは、三日町にいた。東根は、気候じょうけんがいいから、さくらんぼがよくそだつ。東根の人口はおよそ 43000人で、そのうち農業はおよそ 13000人です。

さくらんぼの量は、ふえていると市役所の人はいっていました。でも、ぼくの家回りのさくらんぼの木は、みんな切られたのに、本当にふえているのかなあ。(板谷 翔くん)

きょう、林君・森君・板谷君とぼくとで、しやくしょにいきました。ぼくたちは農林かとゆうところにいきました。

のうかのぜんぶのいえでは、3275けんだそうです。

のうかだけをしている人は 436けんだそうです。

1年に33人ぐらいつのうかをする人はへっている。

さくらんぼののうぎょうのめんせきは、425ヘクタールです。

田んぼはだんだんへっている。

さくらんぼのめんせきは、ひろがっている。

さとうえいすけさんは、三日町でうまれたそうです。

ナポレオンときだまとゆうさくらんぼがあわさって、さとうにしきができたそうです。

さくらんぼにあうきおんや、つちがいいからそだつそうです。

木1本で1000～3000円だそうです。市場にだすさくらんぼは、1kgで、1500～3000円です。さとうにしきは1kgで2500円ぐらいだそうです。(大越佑樹くん)

10月14日(月) 授業後の調べ学習<日記から>

お母さんのじっかにでんわをして、次のことをきいてみました。農家の数がへっているのに、どうしてさくらんぼの木はふえているのか？

ねだんもよく、お金がいっぱいとれる。10アールの田んぼに米を作ろうとすれば、20万円しかとれないんだそうです。だが、10アールの田んぼを畑にかえてさくらんぼをうえるとなると、100万円のお金がとれます。しかし 100万円という高い金がかくをとろうとするには、10年のくろうとど
りよくがひつようです。さくらんぼのなえぎは、1本1500～3000円のなえぎまであります。

つぎに、さとうにしきの前はなんだときいてみました。ベニサヤカ、ベニシュウホウ。この2つのなえぎは、やすいので3000円。今はやりのさとうにしきは 800～1000円です。4～5年前にダイアナというひんしゅは1本 30000円。しかし、さとうにしきにまけてしまって、今はないんだそうです。さくらんぼは6月にもぎとりをして、6月中じゅんから下じゅんにかけてお金が入ります。りんごは、秋にもぎとりをして、12月にお金が入ります。さくらんぼとりんごをくらべると、さくらんぼの方が、はやくお金が入ります。せんもんに農家をやって生活をおくっている人は、市町村ではかぞえるほどしかいなく、働いて米やかじゅを作っているけんぎょう
農家はたいはんです。(井上奈美さん)

田んぼが畑になったのは、たくさんあるそうです。田んぼはいっしょうけんめいそだてても、さくらんぼよりもうけがないので、やっているそうです。そして、大きなさくらんぼを10こぐらいつめてるのなら、2000円くらいするそうです。わ～すごい～。13年くらいたったさくらんぼだと、うまくすれば5・60万くらいなるそうです。1本で60万くらい。すごい。でも、なんでほかでさくらんぼをつくらないの～ときいたら、ん～わかんないといっていました。さくらんぼって、すごいなあと思いました。

(横尾綾香さん)

10月14日(月) 授業後の調べ学習<日記から>

さくらんぼの種類

- | | |
|----------|-----------|
| ①さとうにしき | ⑤たかさご |
| ②なんよう | ⑥ナポレオン |
| ③べにさやか | ⑦セネカ |
| ④べにしゅうほう | ⑧ダイアナブライト |

などでした。①～⑧までの中で、しっているのは①さとうにしきと⑥ナポレオンだけです。ほかの②③④⑤⑦⑧は、まったくしりません。いまつくられているのは①と⑥だとおもいます。ぼくは、さくらんぼの中でも、さとうにしきとナポレオンが有名だとおもいます。
(渋谷宜克くん)

お母さんに聞いてみて、さとうにしきの前は、ジャボレーと高砂(たかさご)があったそうです。あと、さくらんぼの木は大きくてとりにくかったそうです。そこで研究に研究をかさねて、実をとりやすくしたそうです。

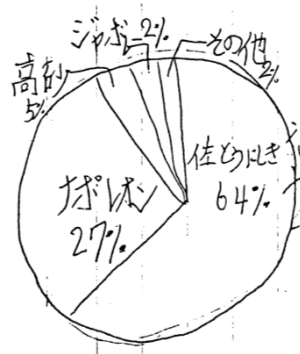
ジャボレー = すっぱ～い

高砂 = すっぱ～いよ

ナポレオン = すっぱ～いよ

今は研究をして、あま～くなったそうです。

(矢作 葵さん)



ナポレオンと黄玉を合わせてつくったものがさとうにしきです。黄玉のように甘くて、ナポレオンのように実がかたいものと、**佐藤栄助さん**がつくったものです。ぼくは、いろいろなさくらんぼを、あじをみて作ったと思いました。
(外塚孔明くん)

今日、お母さんにさとうにしきができるまえは、何というさくらんぼを食べていたかときいたら、「ジャボレー」「ナポレオン」という、すっぱいような甘みがないようなさくらんぼを食べていたそうです。でも、さとうにしきができるからは、「ジャボレー」などをさいばいする農家は少なくなったそうです。
(太田 剛くん)

おじいちゃんにききました。

「さとうにしきがうまれる前って、どういうさくらんぼだったの？」

おじいちゃんは、

「ジャボレーや、ナポレオンじゃないか。」

とっていました。

ジャボレー、初めてきく名前だなあ。先生きいたことある？

(元木祐介くん)

さとうにしきの前のさくらんぼは、ザボリだそうです。ザボリは、5月のすえにできるそうです。さくらんぼは、今ふえているそうです。さくらんぼはねだなんが高く、うれるからふえてるんだっておじいちゃんがいったんだけど、

「たかいから、かつてはたべられない。」

「もらうとたべられます。」

とっていました。わたしの家に、前ナポレオンというさくらんぼがあったそうです。ナポレオンは、実が大きくてすっぱいそうです。わたしは、どうしてさくらんぼの味がちがうのかなあと思いました。

(横尾綾香さん)

10月14日(月) 授業後の調べ学習<日記から>

おばあちゃんに「さくらんぼの木は何本あるの？」ときいてみました。そしたら、「20本ぐらいある。」とっていました。

つぎに、「kg何円ぐらいするの？」ときいてみました。そしたら、おばあちゃんは、「1kgは、だいたい3000～4000円くらいするよ。」とっていました。

つぎに、「1本の木になんkgぐらいなるの？」ときいてみました。そうしたら、「だいたい10～20kgぐらいなるんだよ。」とっていました。

わたしは、さくらんぼはすごくたくさんお金がでるんだなあと思いました。

さくらんぼは、なえでそだつんだそうです。わたしは、小さいなえなのに、あんなに大きくなるので、すごいなあと思いました。
(辻村美穂さん)

わたしの家では、さくらんぼをうえています。でも、うちで食べる分だけです。これは、おいといて、わたしは、田んぼからさくらんぼを作った人はいないと思います。なぜかというところ、さくらんぼは水はけがよいところができているからです。田は、水がたまりやすいような土だから×です。もちろん、そのはんたいも×です。
(齋藤友里さん)

こういうふうに自分の考えをもつということは、すばらしい！

しっかり考えることのできる人にしかできませんね。

考えてみると、そうだよなあ。ねえ、友里さん！

6月29日(土) <1学期の日記より>

さくらんぼのこと

どうして、さくらんぼの上にビニールがあるのにわれるか？

それは、雨がふると、雨があたらないのにわれるのは、空気中のすいぶんをすって、ふうせんに水をいれたように、かわがパンパンになって、かわがわれるそうです。雨があたってもわれてします。

とったさくらんぼは、われないうちにしんぶんしにひろげて、せんぷうきやドライヤーでかわかします。かわいたところから、はこやパックにつめて、のうきょうに出荷します。とりがたべたさくらんぼやりんごは、なぜおいしいかというところ、空をとんでいるとりは、そのりんごやさくらんぼのあまいにおいが空にあがるので、それをねらってとんでくるのだそうです。どうして、すずめはにおいがわかるのかなあ～。もしかして、いつもおなかがへっているのかなあ～
(岡崎 綾さん)

6月に綾さんの書いてきた日記です。さくらんぼって、雨にあたるとわれるそうなのですが、あたらなくてもわれるって、知らなかったなあ。

作っている人たちは、いろんなことをしているんだなあと思いました。

10月15日(火)

さくらんぼは、冬は雪がふるさむい地方で、4月～6月にかけて雨量がすくなくて、7～8月の気温が高い地があっているそうです。それに、さくらんぼをつくっているところは、寒河江を中心にして山形ぼんちなのです。おきなわはなるわけがありません。それは、雪がふりませんからですよ～。それに、年中あったかいからです。さくらんぼは、全国47都道府県のうち13の道県しかさいばいをしていません。北海道は 307ヘクタール。青森は 217ヘクタール。岩手は 45ヘクタール。秋田は 49ヘクタール。山形は1610ヘクタール。ふくしまは 49ヘクタール。長野は 64ヘクタール。山梨は 168ヘクタール。山形がとつぷです。そのほかに新潟は 24ヘクタール。宮城、和歌山、鳥取、岡山県は 1ヘクタール だけなのです。わたしは、土地と気候はあまりよくないのかなあと思いました。

(辻村美穂さん)

東根市で昔有名だったものは？

昔は、田んぼと葉たばこが東根では有名だった。

さくらんぼをつくった理由は？

工業生産がふえて、工場づとめの人があふえてきて、若い人の農業をする人が少なくなってきた。それで、考えたのがきぼが小さくて生産性が上り高収入がえられる物。それが、さくらんぼだった。その他にも、桃やりんご、なしもあったんだけど、その中でもさくらんぼが1番の収入があったから。

昔は、加工用のさくらんぼ1コンテナ(20kg)12000円もしたのがあったそうです。

(太田ちひろさん)

山形にはくだものは、みかん以外は、ほとんどあります。では、なぜみかんは山形で作られないのか考えました。それは、気候じょうけんが悪いからだと思いました。みかんは、あたたかい地方で、冬も気温が下がらない所でとれるそうです。

では、なぜさくらんぼがとれるのか。米をへらすとき、いろんな野さいやくだものをうえてみた。野さいはあまりもうからないし、さくらんぼが1番高くておいしくて、いろんなじょうけんがあっていたからだと思います。さくらんぼで大事なことは、土地と気候です。土地は水はけがよく、土のつぷがあらくて、空気のとおりやすいたいらな所がよいです。また、気候は、冬は雪がふる地方で、4月から6月にかけて雨量が少なく、7・8月の気温が高い地方がてきしています。こうしたじょうけんにかなっているのがさがえを中心とした山形ぼん地です。

昔、いろんな物を作ってみて、さくらんぼが1番もうかり、育てやすかったので、さくらんぼを作るようになったと思います。

(板谷 翔くん)

お母さんのじっかの人に、どうしてさくらんぼをうえたのかということをきいてみました。

30年ぐらい前に、ようさん(かいこ)を育てていました。しかし、お金が入りにくく生活にこまったため、東根にあそびにいったら畑にすんごくかわいいあかいみをみつけました。これは何だとおもい、東根の人にきいてみたら、さくらんぼとわかりました。ねだんもいいし、金にもなりそう。かいこのせわよりもらくみたいだと自分でおもい、おやにだまってなえぎを買ってうえたのがはじまりです。そのころ東根では10年以上もさくらんぼをしゅうかくしていたそうです。ここ2・3日、まごからでんわで宿題を教えられることは、先生になった気分、すごくはりきっています。しかし、さくらんぼだけです。しかし、ここまでふかくきかされると、先生にはなれないんだなあといっていました。(井上奈美さん)

10月15日(火)

ぼくの家では、どうしてさくらんぼをうえないかきいてみました。そしたら、ぼくんちではさくらんぼをうえる土地がないと
 いていました。それに、1本だけじゃうまくならないからうえない
 といっていました。う～ん、なんで1本だけじゃそだたない
 のかな。きっと、さびしいからそだたないのかな。う～ん、う～
 ん、まさか木にもおすとめすがあるからさくらんぼはうまれるの
 かなと思いました。(鈴木優斗くん)

わたしは、お母さんにさくらんぼのことをききました。そして、
 昔のさくらんぼの名前は、ナポレオンです。あまずつぱいあじで
 す。さとうにしきは、あまいあじだそうです。今の人は、あまい
あじの方がすきだという人が多いので、さとうにしきの方が人気
があるそうです。お母さんは、でも、ナポレオンの方がすきだそ
 うです。なぜ、それなのにナポレオンは、さとうにしきとあまり
 さというのではないようです。どうせなら、さとうにしきをうえれ
ばいいのにと思ったら、花粉じゅがないと、よい「み」がつか
 ないので、そのためにちかくにナポレオンがあるんだそうです。

みなさんは、さとうにしきのかんづめを見たことがあります
 か？

それはあまりなく、ナポレオンが多いのですよ。それは、さ
 とうにしきより、ナポレオンくんはかわがあついので、かんづめに
しやすいということ！(齋藤友里さん)

わたしは、今日、じゃ～んさくらんぼの種類をかきま
 ～す。

東根でさくらんぼがゆうめいだとわかっていたんだけ
 ど、こんなにしらべるとあるなんてしらなかったー。

(岡崎 綾さん)

市町村名	がじゅうの面積	しゅうかく量
寒河江市	2 8 6ha	15 00 t
東根市	2 5 3ha	30 70 t
天童市	1 9 9ha	15 60 t
村山市	1 8 8ha	8 40 t
河北町	1 4 5ha	8 34 t
山形市	1 3 1ha	7 02 t
上山町	9 9ha	6 25 t
南陽市	8 3ha	4 49 t
米沢市	3 5ha	1 81 t
山の1町	3 5ha	1 82 t

10月15日(火)

今日は、通学路にあるくだものの1位～3位までをはっぴょうします。

第1位は、りんごです。

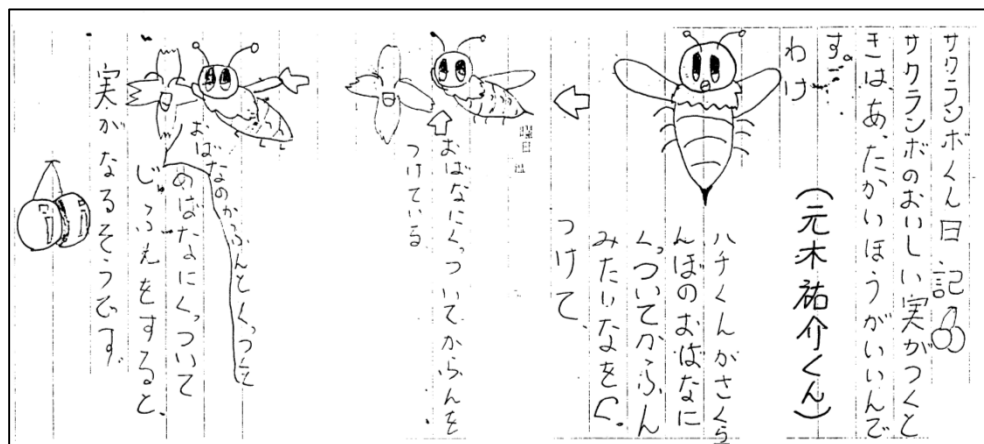
第2位は、ようなしです。

第3位は、かきとさくらんぼでした。

通学路にあるのは、りんごが1番でした。どうして1番お金になるのにりんごとかようなしをうえるのかなあ。

山形盆地は、もがみ川にそった盆地で、中心都市は山形市。

せんじょうちでは、おうとう（さくらんぼ）・ぶどう・西洋なしなどのくだものづくりがさかんで、中央部で米づくりがさかんとかいてありました。（渋谷官克くん）



さくらんぼをうえるまえに、たばこのはをうえていた。なたねあぶらをつくるものをつくっていた。昭和53年の年まで、たばこをつくっていました。たばこをつくっていて1年間のしゅうにゆうがすくなかったため、おばあちゃんが会社につとめてさくらんぼをうえました。(奥山貴博くん)

家に帰ってお母さんにきいてみました。東根では、畑と田では、かじゅを作っているうちが多いから畑が多いそうです。

さくらんぼのしゅうかくで1年間のしゅうにゆうがきまる。りんごのできがわるいと農家の人はこまるそうです。さくらんぼは7月ぐらいにおわるけど、りんごは12月までかかる。さくらんぼとかりんごは、冬にせんていする。せんていは、1月のなかばごろはじまるそうです。さくらんぼはしょうどくとひりょうをしているとおいしくなる。はっしょうの地は、東根市。**佐藤えいすけさん**が最初に作ったのでさとうにしきとなった。

(本間美帆さん)

さくらんぼが東根で有名なのをしらべてみたら、おいしいから
だそうです。それから、たくさんとれるからです。6月にとれ
るさくらんぼのりょうは、1650トンです。そして、せんでんと
かをして有名にしているそうです。ぼくは、有名にするために
くふうしているんだと思いました。

(外塚孔明くん)

<さくらんぼの授業③> 10月16日 (水)

①【農家の数はへっているのか？】

14日に市役所に行って農林課の矢萩さんに聞いてきてくれた森君、板谷君、大越君、林君の発表から始まりました。

それにみんなが家で聞いてきたことや調べてきたことをどんどんつけたしていきました。

①の発表で、
東根市では農家の数が毎年33件くらいずつへっていることが分かりました。

②【さくらんぼをうえている土地はひろがっているのか？】

②の 田を ⇒ 畑に で、友里さんが、
「水がたまりやすい田んぼを、どうやって畑にするのか？」
と発表しました。どうやってするのかは、だれもわかりませんでした。

10/16 曇

① 農家の数
3275件
へっている
一年間で33件
田がへっている
米がふえている

市役所
農林課
矢萩さん
森 板太 林
田...水がたまりやすい
サクラんぼ
水はけがよい所

② サクラんぼの土地
広がっている
1kg...2500円くらゐ

昔はすっぱいのが主流
ジャム ①
ジュース ②
かんづめ ③
酒 ④

たまたま ⑤

③ 昔のサクラんぼ

おもしろい
ナポリオン
大きくて
すっぱい
うめなかった

黄玉 ⑥
サトウニシキ
佐藤さん 三日田で生まれた
おもしろい おまい

おもしろい
ジャホール ⑦
日の出
ふだま
なんよう ⑧

研究

昭和45年 ナポリオンが1番
平成2年 サトウニシキが1番

両端霜害 雷害 雪害 露害 雹害

<さくらんぼの授業③> 10月16日 (水)

③【昔のさくらんぼは?】

家で調べてきた発表がたくさんでした。

大きくてすっぱい「ナポレオン」と、

「黄玉」(これがどういう味かは、だれもわかりませんでした。)
というさくらんぼから

ゆうめいな「さとうにしき」がつくられたことが分かってきました。

ちひろさんの持っている本から、

昭和45年 ナポレオン が1番

平成 2年 さとうにしき が1番

とつくられている量のうつりかわりも分かってきました。

昔たくさんつくられていた「ナポレオン」

……そこから、

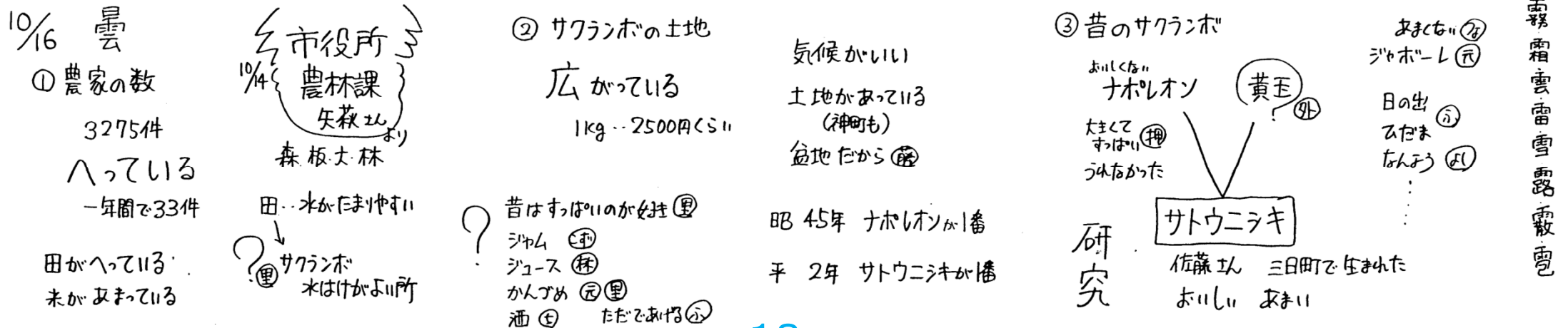
「昔の人はすっぱいのが好きだった。」

「さくらんぼをジャムにしていた。」

「かんづめにしていた。」

「さくらんぼは、生で食べる物と思っていたけど、昔はそうではなかった」

と新しいことが分かってきました。



10月16日(水)

授業後のはてな？

☆田んぼは畑にできるのか？

☆ナポレオンはどうやって食べていたのか？

☆さくらんぼをうえている土地はふえているのか？





10月16日(水)

市役所の矢萩さんより 市役所へ ②

水はけのいいところにさくらんぼはなる。

ナポレオン＝かんづめ。黄玉は、ナポレオンよりあまい。

さくらんぼは、なまや、かんづめ、ゼリーなどにつかう。

ナポレオンのげんさんは、ヨーロッパ。明治のはじめころ日本に入ってきた。「にしき」といういみは、きらきらがやくいみ。

きだまは、日本でできた。さくらんぼのしゅるいは10。

さくらんぼをうえている土地は**少しずつふえている**。

(林幸憲くん・大越佑樹くん)

田んぼはへっていて、果樹がふえている。

ナポレオンは、かんづめとして食べていた。ジュースにはしていない。

かこう会社がたかくかう。黄玉は、ナポレオンより少しあまい。

ナポレオンのげんさんは、ヨーロッパ。明治のはじめに日本にきた。

さくらんぼをうえている土地は**少しずつふえている**。

さくらんぼの前は、たばこがゆうめい。(瀬野剛規くん)

田んぼは畑にできるのか?の答は、じょうけんのあうようにすれば**できる**。水田はへっている。そのかわり、かじゅをうえている。

げんさんしらべ。 ナポレオン⇒ヨーロッパ

さとうにしきのはじめは、でわにしきという名にしようかとかがえたそうですが、さとうさんが作ったので、さとうにしきにした。

(齋藤友里さん)

授業後のはてな?

☆田んぼは畑にできるのか?

☆ナポレオンはどうやって食べていたのか?

☆さくらんぼをうえている土地はふえているのか?

21

どうしてさとうにしきがはやったのか?

東根の佐藤えいすけさんという人が、さくらんぼのたねからなんこかはえたところ、1つだけ「かわりだね」がでて、これはうまい、たべてみるとおいしい、あまいといううわさになり、名前をとったのがさとうにしきだそうです。

いろいろささくらんぼの味

ダイアナの味……高いお金を出してなえぎを買ってうえたが、み
がなくてだいしっぱいにおわった。

ベニサヤカ、ベニシュウハウの味……みためがわるい。たべてみ
て、おいしくない。すっぱい。あまくない。さむい
ところでもなる。つぶは、さとうにしきと同じ。

ナポレオンを昔はどうしたか?

昔からなましょくようとしてはだせなかった。わけは、みがかた
くて1つぶの重さがすごく重いからだせないんだって。**だから、かん
づめにされる**。昔の人はすっぱいのがすきか?あまいのはたべるこ
とはできない。わけは、あまいのをたべると、金にはならない。

田んぼは水がたまりやすい。そこに、さくらんぼをうえられるのか。

田んぼに1m30cmくらいのあなをほって、あながあいているパイ
プをうめると、あんちゅはいすいといって、田んぼの水がなくなる。
なくなったところでさくらんぼをうえることができる。

さくらんぼをうえる土地は、ふえているのか?

昔からみれば土地はふえていますが、これ以上ふえない。わけは、
県外の人さがさくらんぼはおいしいしお金になるということをしり、
みんながうえるようになっている。10~15もたてば、さくらんぼは
山形県のとくさん物にはなくなるだろうとさくらんぼをうえる
人たちはみている。(井上奈美さん)

10月16日(水)

うちには、さくらんぼが15本あります。それで、おうちの人にいつも～んタ～イム。

1、おばあちゃんに、昔から畑だったのか？ときいてみました。そしたら昔の昔、大昔から畑だったそうです。

2、おとうさんに、ナポレオンは昔どうやってたべていたか？ときいてみました。そしたら、生でもたべていたけれど、かんづめにしていたそうです。かんづめは、まだ青いうちにだしてやるそうです。うちでは、いままナポレオンはかんづめにしています。昔は、ナポレオンはやすかったそうです。でも、今は昔よりたかくなったそうです。わたしは、どうして今はたくなったのかなあと思いました。

(辻村美穂さん)

米をつくっている農家は、国の人からげんたんするようにいわれると、田んぼで米はつくれません。でも、畑の農作物はつくってよいので、やさいなどをつくっている人もいます。

ナポレオンは、さとうにしきのようにそのままではあまり食べません。それは、とてもすっぱいからです。ナポレオンは、かんづめにしたり、さとうでにたり、お酒につけたりしてかこうして食べます。うちのお母さんは、ナポレオンをカルピスにつけて、こおらせて食べさせてくれます。

ナポレオンは、まっ赤にならなくても、しゅうかくの時、黄色でも全部もいでしまうそうです。

さくらんぼを植えている土地は、町のかいはつや農家をやめてしまう人がいて、へっているのです。

(小野智美さん)

ナポレオンをどうやって食べていたか聞いてみたら、おばあちゃんのころは、そのまま食べていたそうです。お母さんのころは、かんづめができていたそうです。今では、さとうにしきをしゅうかくしたあと、ナポレオンのしゅうかくをするそうです。ぼくは、いろいろな食べ方があるんだなあと思いました。

(外塚孔明くん)

家に帰ってからお母さんから聞いてみました。

田んぼは畑にできるそうです。水をぬいて畑せんよの土を入れて、畑をつくっています。田んぼの中に畑があるのは、昔田んぼがあった所だそうです。ナポレオンはあまりおいしくないで、かんづめにすることが多いそうです。ぼくの家の回りのさくらんぼの木は、ほとんど切られてしまったので、さくらんぼをうえている土地はへっていると思います。でも量がへらないのは、昔より今は研究をしたりして、おいしく量をふやすようにしたと思いました。

(板谷 翔くん)

今、ナポレオンは？ジャボレは？ 農家の人に聞いてみた。

今、ナポレオンは、実がよいのでも悪いのでも、全部かんづめ工場におくられて、かんづめになるそうです。(ジュースにはならない) ジャボレは、かんづめにもジュースにもならないそうです。

田は畑になるのか？ それは、畑になるそうです。

やり方 1、田に水が入らないように回りをかこむ。

2、水をぬく。

3、土でうめる。 で畑のできあがり～！

いろいろなくふうをしているんだなあ～ (太田 剛くん)

ナポレオンはどうやってたべたか？

ぼくは、かんづめかジュースだと思いました。どうしてかというと、すっぱいならジュースにしてのんだほうがいいから。かんづめというのは、なんかにのせるときにつかえばいいと思ったからです。さくらんぼのナポレオンとは、だれが、どうしてつけたのかな？

(渋谷宜克くん)

今日、家の人にさくらんぼつけたみたいのがあると聞いたら、あるといっていたザンス。どこにあるのと聞いたら、下のとだなといっていました。お母さんがトイレにいつているあいだに、つまみぐい。ガサガサ、アレーナイ、あったー、クルクル、パッキン。すっぱいー。まだつかってない。ジャーギーボタン。お母さんがトイレからきた。わたしは、お母さんがトイレにいつている間につまみぐいしたからばちがあたったみたい。すっぱいばちみつけた。

(岡崎 綾さん)

10月17日(木)

ナポレオンの食べ方

ふつうに食べる。 かんづめにする。
ケーキにかざるなどかチェリーというものをつくる。
ジャムになる。 みつまめのさくらんぼ。
うめぼし。 お酒。

ナポレオンの食べ方はいろいろだな。(高橋可奈恵さん)

さくらんぼのおいたち

さくらんぼが山形にはいつてきたのは、めいじ8年で、東京からおくられてきたようなし、りんご、ぶどうなどの木といっしょに3本のなえぎがあったのがはじめだそうです。さがえでは、めいじ9年に井上かんべえがほっかいどうからなえぎをとりよせているそうです。めいじ21年には、本多なりみつ(あとで、さがえまち町長になった)と、わたなべしちべえが中心になって、のうぎょうしけんじょうをつくってくふうしながら広めていったそうです。そして、めいじ28年には品しゅが24ひんしゅにふえたそうです。みんなにすかれる「さとうにしき」は、東根市のさとうえいすけさんがたいしょうがんねんにつくりだした。それを昭和3年にひがしねしのくだもののなえ木生産をしている岡田とうさくがゆずりうけて、「さとうにしき」となまえをつけてうったそうです。わたしは、さくらんぼのれきしだなあとおもいました。

(岡崎 綾さん)

10月19日土曜日、斉藤由加ちゃんと、私でチェリーランドに行ってきます。聞いてくることは、

- ①さくらんぼの生産地は?
- ②チェリーランドにくる人で、一番遠くからきた人は何県か?
ほかにもいろいろ聞いてきたいと思います。(太田ちひろさん)

さがえと東根のどっちがさくらんぼがおいしいのか?

さがえがおいしいそうです。東根は、りょうがとれているだけだそうです。でも、おいしいよ。さがえがおいしいわけは、ひりょうのやり方がじょうずなのと、赤っぽい土をつかっているからだそうです。

東根とさがえのどっちのさくらんぼが多くとれているか?

それは、東根だそうです。

どのさくらんぼのしゅるいが一番多くとれているか?

東根………さとうにしき

さがえ………さとうにしき

いちばんうれているのは、さとうにしき。

東根とさがえは、ライバルみたいです。(井上奈美さん)

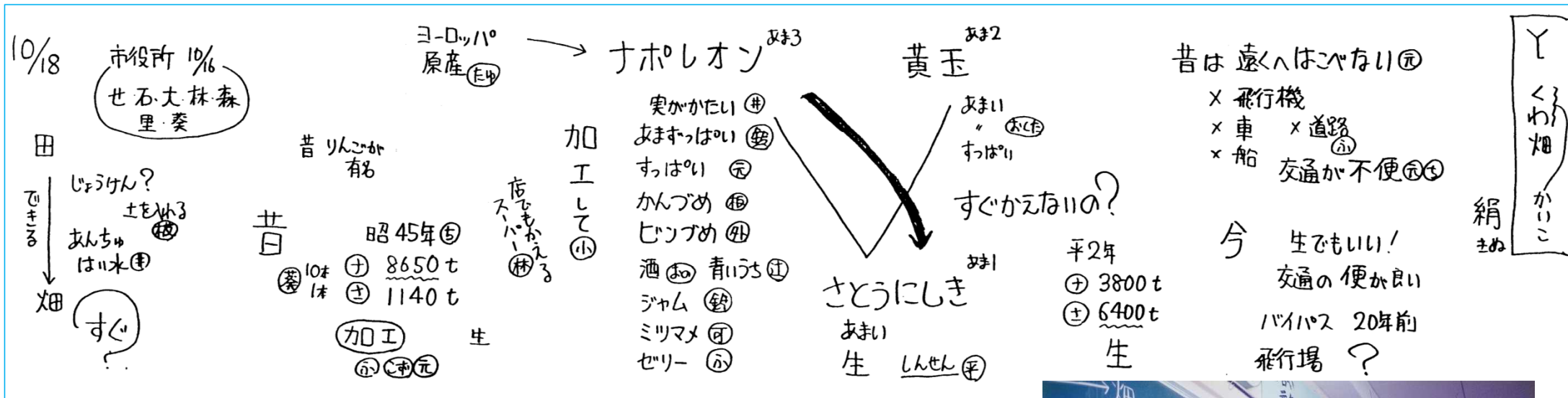
さくらんぼのくふう

- ①下にぎんのビニールをしく。それで、光をよくあてる。そして、よくそだつようにしている。
- ②あみをはって、さくらんぼをとりにたべられないようにしている。
- ③くされているものなどはとっておく。理由、くされているみたいなのにするこし木のえいようをとられるみたいになるから。
(武田貫平くん)

ナポレオンをどうやって食べていたのか、もっとくわしく調べてみたらさとうにしきは、あまくて、やわらかくて、びんづめやかんづめになっても、そのまま食べられても、ねだんは高いそうです。そして、ナポレオンは、ねだんはさとうにしきよりやすくて、かたくて、びんづめやかんづめにしたそうです。ぼくは、さくらんぼのしゅるいごとにいろいろな食べ方があると思いました。(外塚孔明くん)

<さくらんぼの授業④>
10月18日 (金)

前の授業後のはてな？ ☆田んぼは畑にできるのか？
☆ナポレオンはどうやって食べていたのか？
☆さくらんぼをうえている土地はふえているのか？

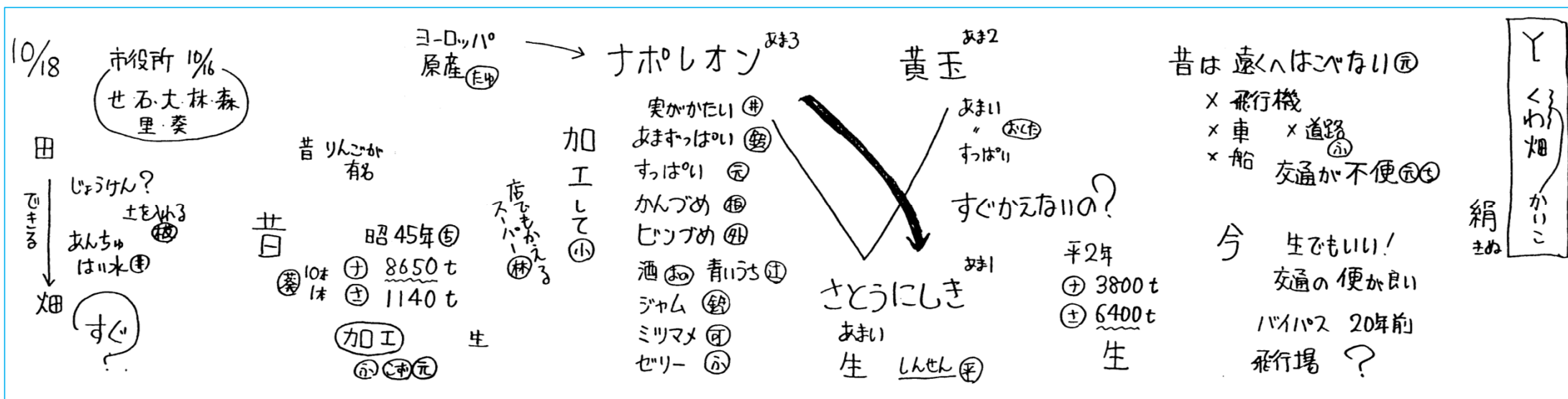


市役所で聞いてきた瀬野君、石川君、大越君、林君、森君、友里さん、葵さんの発表はなかなか上手でした。資料もたくさん持ってきてくれました。
ナポレオンと黄玉の正体(しょうたい) が分かってきました。
とくに、ナポレオンくんの味と食べられ方は、そうかと思いました。



<さくらんぼの授業④>
10月18日 (金)

前の授業後のはてな？ ☆田んぼは畑にできるのか？
☆ナポレオンはどうやって食べていたのか？
☆さくらんぼをうえている土地はふえているのか？



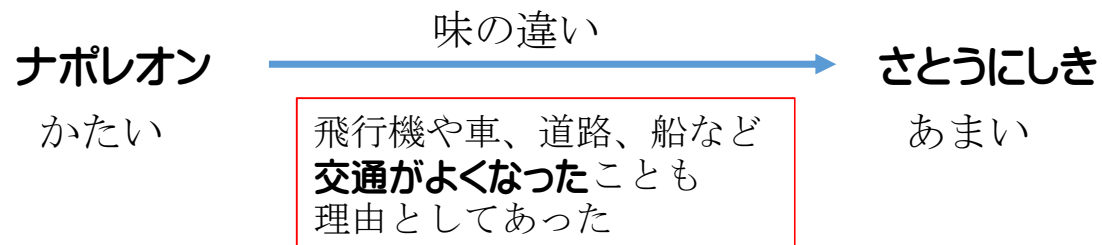
市役所で聞いてきた瀬野君、石川君、大越君、林君、森君、友里さん、葵さんの発表はなかなか上手でした。資料もたくさん持ってきてくれました。
ナポレオンと黄玉の正体(しょうたい) が分かってきました。
とくに、ナポレオンくんの味と食べられ方は、そうかと思いました。

ナポレオンは、加工して食べていた。

これって、加工した方がよかったからなのですね！
そうしなければいけなかった。そういう味、かたさだったんですね！

さくらんぼの昔と今は、ナポレオンとさとうにしきの歴史のようですね。

さとうにしきはあまくておいしい。
だけど、ナポレオンからさとうにしきにかわる時に、



という元木君や藤本君、ちひろさんの発表はすばらしい。

味だけじゃないんですね。そういうことも関係してくるとは……………

ナポレオンとさとうにしきの生産量がくわしくわかりました。
平成2年に、ついにさとうにしきがナポレオンをぬいたのですねえ。

でも、

☆ ナポレオンの木を切って、さとうにしきにしたらもうかるのに、
どうして全部さとうにしきにしないの？

新しい？です！

田んぼは畑にすることができるようでした……となりました。

でも、どうやって？ すぐかえられるの？

友里さんが、続けて聞くことになりました。こういう？は、いいなあ！

10月18日(金) 市役所へ ③

市役所で聞いたこと。

田んぼ～畑で、どれくらい日にちがかかるか

1ヘクタール(グランドの2つ分)だと、まずさいしょにはい水をよくする。つぎにぎっそうをいれ畑にする。それで、じょうけんなどがあり、ぜんぶよくても5日くらい。

わたしのききたかったことは、りょう金がなん円くらいか？

1ヘクタールは100×100で×1m(1mは土をかさねていってできた分)土のりょう1万%です。それで1%が1600円するので、1万%×1600円=1600万円です。それで、平らにするのにダンプだけでできないので、ブルドーザーが1%で200円だから200万円。セメントが1000万円。合計2800万円だそうです。このときは、農林かの人もしびっくりして、なかなかこたえられませんでしたのでR。

木は5年～10年でみがるので、いきなりすると5～10年またなくてはならないので、すぐにはきらないそうです。

木は何年もつか 30年～40年

昔ナポレオンは、何でとおくへおくったのか？

のりものといえば、てつどうしかなかったから、ナポレオンは東京へおくられてはいた。東京へいくとき3日～6日かかるので、くされてとてもたいへんでした。このじだいではビニールハウスもないので、われてとても品のいいものとはいえませんでしたのでR。

30年前……加工した。昭和のはじめ東京へいっても×でしたので、いったんナポレオンつくりをやめた。(武田 梢さん)

1ヘクタールで5日くらいかかる。お金は……2800万円かかる。さとうにしきは、30～40年もつ。30年前から加工会社ができた。(ナポレオンは90%は加工)20年くらい前から生がふえた。こうきゅうなりょうりにはかかせない。さいきんでてきた(ジュース、お酒など)わたしは、しやくしょにきて、とてもためになりました。

(齋藤友里さん)

きょう、しやくしょにさくらんぼのことをききに行きました。そして、ナポレオンをさとうにしきしないかきいてみたら、今の畑のめんせきのうち80%がさとうにしきで、20%がナポレオンだそうです。それで、さくらんぼの木がなん年くらいもつかきいてみたら、30～40年くらいだといっていました。あと田んぼをはたけにするのは、なん日くらいかかるかきいてみたら5日間で、じょうけんでかわるそうです。それぞれにかかるお金は田んぼ1ヘクタールで1万㎡のりょうで、だいたい土が1600万円。あとブルドーザーなどのお金が200万円で、60%のけいひで1000万円で、合計2800万円かかるそうです。ちなみに1ヘクタールはグランド2つ分です。

あとさくらんぼは、まえでんしゃで4日間かかって東京まで行って、もうくされてしまったので、もうおくるのと**さくらんぼをつくるのを1回やめたそうです**。でも、まだのっている木があったから**加工ぎょうしゃがかこうようにかんづめにしたら、ちゃんとうりだせた**そうです。そのときちょうどしょうわ45年ごろでした。

つぎ20年ぐらいたって**かがくがすすんできて、加工じゃなくて生でうられたそうです**。あとナポレオンは、昔あまりおいしくなかったもので、東京のこうきゅうレストランなどにおくって、りょうりのかざりにしていたそうです。あとナポレオンをワインやジュースにしたのは、ついさいきんだそうです。ぼくは、さくらんぼにもふかいれきしがあるんだなあと思いました。(高橋勇貴くん)

……………昭和のはじめはぜんぶナポレオンをつくっていたそうです。そのときは加工してたべていたそうです。30年前に加工ぎょうしゃができました。それに、20年まえから生でたべるようになったそうです。東京にいくまで3～4日かかったそうです。それで、1回けいけんしてみたけど、つくまでくされるから、そこでさくらんぼをさいばいするのをとめたそうです。わたしは、昔は自動車などなかったから、たいへんなだったんだなあと思いました。今日は、たいへん勉強になりました。(辻村美穂さん)

10月18日(金)

今日、さくらんぼのおばちゃんに、さくらんぼはどれくらい実がもつのときいてみたら、たったの1か月しかもたないそうです。それにさくらんぼが有名でも、作るのにとても大変でした。どうしてかという、昔は雨をよけるためのテントがなかったそうです。私は、それをきいて、昔は作るっていても、あんまりうまく作れないんじゃないの？と聞いたら、昔の人はそれでも頭をつかってなんとかくふうして作ったそうです。まず、昔は、せっかくみのったさくらんぼの実が雨がふってしまえば、つぎつぎにわれてしまい、うり物にならなくなったそうです。そこで考えたのがテントです。雨の日でもさくらんぼをとることができるし、さくらんぼもわれませんでした。昔の人は、くふうがうまいんだなあと思いました。

(矢作 葵さん)

じっかにいってさくらんぼのことをきいてきました。

- ①さとうにしきの木 → 30本ぐらい
- ②ナポレオンの木 → 5本ぐらい
- ③ジャボレの木 → 3本ぐらい
- ④ダイアナの木 → 2本ぐらい
- ⑤べにさやか木 → 3本ぐらい

学校でべんきょうしたように、ナポレオンは昔はジャム、かんづめなどにしたそうです。じっかの前に前きたのは、田んぼからじゃなかったそうです。ホップ畑からかえたそうです。わたしは、さくらんぼってふしぎだなあとおもったよ～ん、がちょ～ん。

(岡崎 綾さん)

「なぜ、野菜やくだものを作るようになったのか。」調べてみました。

そうしたら、鉄道を利用すると、作ったものを遠くまで送れるし、町に住む人がふえてきたのでつくられるようになった、と書いてありました。けれども、交通が便利になったので、働きにくく人がふえて多くなり、人手が足りなくなったので、機械を使って仕事をする農家がふえてきているそうです。農家の人は、いろいろなことがあって、たいへんだなあと思いました。

(本間美帆さん)

昭和45年は、ナポレオンはやく8000トンとれて、さとうにしきはやく1000トンとれると勉強しました。

本をみると、さとうにしきは天候や土地がわるいとしゅうかくりょうが大きく変化するそうです。とれる量が不安定なさとうにしきよりも、安定しているナポレオンの方が昭和45年には多いと思います。だから、ぜんぶさとうにしきに変えないでナポレオンも育てたのだと思います。

(板谷 翔くん)

お父さんに、どうしてぜんぶさとうにしきにしないかききました。

①同じものだけだと、同じ時期にしかとれないので、ナポレオンも植えているそうです。

②さとうにしきだけだと、うまくじゅふんしないから。

(元木祐介くん)

10月18日(金)

昭和45年、ナポレオンとさとうにしきをどうやってたべていたか？

ナポレオンは、さがえ市だけでハウスをかけてさいばいし、生でたべたり、うったりしていた。ほかの所では、ほとんどなんづめにしていた。しかし、生しゅっかはねだんが安いのですぐやめて、**かんづめになっていった。**

さとうにしきは、生しゅっか、生しよく

わたしは、かこうしてたべていたのほうだったから、あたったのかと思う。だけど、本当にそうなのだろうか？

あんちゅはいすいを田んぼにいれると、どのくらいで水がなくなるか？
どこの田んぼでもあんちゅはいすいはできない。

①水はけがよい所

②1 m以上なければならない（深さ）

10アールの田んぼにたいして、100mのパイプを2本機械でうめると、ねだんが50～60万かかります。ふつうの雨などの水がたまっただあいは、すぐ水がひく。台風などで大雨になったばあいは、2～3時間で水がひく。

ナポレオンをどうしてさとうにしきにしないのか？

もうナポレオンは、ほとんど切られていて、さとうにしきにかわっているそうです。でも、ナポレオンはぜんぶなくなったわけではありません。

1本の木のじゅみようは、ナポレオンとさとうにしきは50年生きればもうおわりだそうです。
(井上奈美さん)

10月19日(土)～20日(日)

どうしてぜんぶさとうにしきをつくらないのか？

家では、さとうにしきとナポレオンとたかさごの3種類があります。

さとうにしきは、あまくておいしいため、一番人気があり、お客さんも好きなさくらんぼです。

ナポレオンは少しすっぱくて、あまりおいしくありませんが、**さとうにしきより少しおそくしゅうかく**（木からとること）**できる**ことと、加工用（かんづめになること）に買ってくれるため、**あまり手間がかからず木から取ったものをすぐにコンテナに入れて売る**ことができます。

さとうにしきはパックづめといって、小さなようきに1こずつきれいにならべて、見た目がよいものほど高い値だんで買ってくれる。でも、時間がかかり大変です。雨にも弱いため、ビニールのテントをかけないと、すぐに実がわれて売りものにならない。ビニールハウスを作るにも、お金とビニールハウスをかける作業が大変なんです。さくらんぼはみじかい期間に1日も早くお店に出さなければいけないので、とくにさとうにしきは手作業が多いため、たくさん作れないのです。さくらんぼは、だから値だんも高く、初夏にしか食べられないので、くだものルビー（宝石）と言われていました。

いままでさくらんぼの勉強をしてきて、いろいろなことがわかりました。さいしょは、どうしてだろう？と思っていたことが、家の人や市役所などにきいて、こういうことなんだなあとわかりました。どうして、さくらんぼはできたのかなあと思ってお家の人にきいたら、土地もあっていて、気候もいいからとはじめてしりました。それに、のうかのかずもへっているのに、さくらんぼの土地は広がっているということもわかりました。さいしょは、何だかわからなかったんだけど、きいたりしてだんだんわかってきました。やっぱり、さくらんぼは有名だなあと思いました。（辻村美穂さん）

さとうにしきを発明した人が、三日町のさとうえいすけさんだとは思いませんでした。さとうさんが発明したからさとうにしきになったなんて、おもしろいなあと思いました。

さくらんぼは、どうして名前や味がちがうんだろう？

どうして田んぼを畑にかえたのだろう。べつに米でもよかったのにな。でも、もうかったほうがいいか（アハハ）

どうして、さくらんぼはほかのくだものくらべてねだんが高いのか？

さいしょにべんきょうしたときに、どうして山形県はさくらんぼをうえているか、というのからはじめて、市役所にいってきいてくる人や、おじいちゃんにきいてくることによって、わからないことなどがどんどんくわしくわかってきました。さとうにしきをだれがつくったとか、小さなことからして、今はさくらんぼはかせのようになってきました。

今までべんきょうしてきて、山形県がどうしてさくらんぼに一番あった土地かがよ～くわかりました。それに、のうかの人が多くなってきているんじゃないかと、へっているということもわかりました。**そのこたえがわかっても、まだふしぎだなあと思います。**

お母さんからきいたけど、なんでも赤ちゃんをそだてるようにさくらんぼもそだてているそうです。さくらんぼをうえるとしても、「よし今ここにうえるぞ。」なんてできないんだね。やっぱり、なんでもたいへんなんだ。お金になんきやだめだから、のうかの人がへっているんだなあ。
（井上奈美さん）

自分たちでしらべたり、ききにいったりすることが、3年生のときよりうまくなったなあと思います。さくらんぼは東根が有名だけど、さくらんぼを作るには、いろいろな苦労があったことがわかりました。農家の人はへっていることがわかりました。それは、店とかができて、そこにつとめたりするから農家の人がへってきたと思いました。

（元木祐介くん）

10月19日(土)~20日(日)

ぼくは、さくらんぼについてわかったことは、しゅるいや、どうやってさとうにしきができたかです。どうしてだろうとおもったことは、どうしてさくらんぼのめんせきがひろがっているのに、のうかの人がへっているかです。ぼくは、しやくしょにいて、やはぎさんとゆう人が、そののうかのじむいんをやっている人から、いろいろおそわってたくさんしらなかったことがわかりました。ぼくは、知らないことがわかるってことはいいなあとおもいました。

(大越佑樹くん)

さくらんぼのべんきょうをして、とてもたのしくできました。なぜならしやくしょにいてきいてきたりしたからです。？というのは、ありまっせ〜ん。なぜなら、ちゃ〜んときいて、おぼえたからよ〜ん。わたしは、あまりしゃかいがすきではなかったけど、でも、このべんきょうをして、だんだんすきになりました。

(齋藤友里さん)

ぼくは、社会でさくらんぼの勉強をしてみて、さくらんぼには、いろいろなしゅるいはないとおもっていたんだけど、勉強してみてさとうにしきや黄玉とかがあったのがわかりました。あと、ゆりちゃんがいった田んぼは畑にかえられるのかといったので、できるのかなあとおもったんだけど、なみちゃんがいていたんだけど、あなをほると畑になるといっていました。

(奥山孝幸くん)

さくらんぼの勉強をして、いろんなことがわかって、わからなかったさくらんぼのなまえもわかったし、田んぼを畑に水分が多いからできないと思ってたけど、はい水というのでできるとわかったときはすごいなと思いました。そして、どんどんいろんなことがわかっていったし、さくらんぼのふえかたや、のうかのへりかたと、どうしてのうかの人がへっているのにさくらんぼがふえているのかもわかりました。あと、はい水でさいしょはどうしてそんなのでできるのかなあと思っていたけど、**はっぴょうやうちの人にあとでくわしくきいたりしてわかりました。**

あと、ぼくもどうしてさとうにしきだけにしないのかなあと思って、おじいちゃんにききたいけど、でかけていてよるおそくにしかかえってこなくて、朝は6じごろまでいて、おひるにはもどってきてごはんをたべてすぐいくのできけないけど、こんどきけるとききいてみたいと思います。

あとぼくは、このべんきょうをしてよかったなあと思いました。それは、いろんなことがわかったし、**わからないことがたくさんわかってきて、みんなできょうりよくしてべんきょうできたからです。**

(武田貫平くん)

チェリーランド（寒河江市）日記

10月20日（日）

きのうチェリーランドに行ってきました。太田ちひろちゃんで行きました。チェリーランドへついて、手づくりアイスのうっているところに、さくらんぼのことがくわしくのっているところがありました。さくらんぼはトルコのギレスン市という所からきたそうです。やっぱり、さとうえいすけさんがのっていました。ナポレオンの写真があったよ！あと、黄玉とにっているぶったいが！月山にしきとかいてありました。パシャ！写真にとっておいたよ〜ん。

さ〜てとしつもんするために店長さんをさがしますか〜いしましたいしました。では、コホン、ゲホッゲホッ。

しつもん1 なぜチェリーランドを作ったのですか？

A より多くの人からさがえをしってもらいたい。さくらんぼにこだわっているまちを県外に知らせたい。

しつもん2 1番とおくからくるおきやくさんは、何県からですか？

A 全国の所から。おきなわや北海道など、いろいろな県から。（へえ〜アメリカかななどはこないのかなあ〜）

しつもん3 さくらんぼを使っている品物は、いくつぐらいですか？

A 10何品。モナカ、まんじゅう、クッキー、お酒、ジュース、そば、さくらんぼのたねを使ったおてだま、さくらんぼのみを使ったおしばな、さくらんぼぞめなど、いろいろ

おまけ さくらんぼは1本の木に7000こつくそうです。あと、さくらんぼの日があって、その日は第3土曜日、家の人をはたをかざるんだってー。すごいな〜。

さくらんぼの勉強をしてきて、私は、さくらんぼのことがだいぶわかりました。しらべにいったりしたからです。たとえば、さくらんぼを作るには、すごくたいへんなこととか、田んぼを畑にするには、すごくたいへんだしお金もかかるんだなあと思いました。でも、不思議なことは、ナポレオンと黄玉でどうやってあんなにおいしいさとうにしきができたのかな。それが不思議です。ん〜どうしてかなあ〜。これからもどんどんしらべていきたいな〜。でも、山形のさくらんぼって本当に日本1だなあ。ハッハッハ〜。（斉藤由加さん）



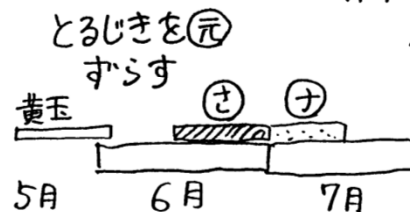
<さくらんぼの授業⑤> 10月21日 (月)

10/21 選挙がおわったぞよ!
感想文 学級賞 おめでとう

10/18 市役所
勇里ちかぶるお

田 1ha (グラウンド2つ分)
5畝で / 高い!
2800万円
± 1600万円
アヒ 200万円
畑
さくらんぼだと
お金になるから
かえる

ナホレオン



せんぶん
切って

うえてから 5年かかる
3~10年
研究 早く

さとうにしき

おまい 早く実がなる (加)

全部 さとうにしきだと
うまう 受ふん しぬ!! (元)
時間がかかるし (加)
花ふんがいる

さとうにしきかたふん
交通が
便利になった
生ではこが
平2年

農林試験場
71種類をつかって
明治から 研究している (考) (加) (元)

50年
さくらんぼの木 30~40年つ (元)
(実) 前 4日間、東京 (加) (元)
生食① 1回やめた

● 加工したらうれた 昭和45年
ナホレオン② 工場が
できた

<さくらんぼの授業⑤> 10月21日（月）

18日に市役所に行って聞いてきてくれた勇貴くん、友里さん、ちひろさん、由加さん、辻村さん、梢さんの発表からはじまりました。

6人が前で発表すると、それにつけたしのかたちで、どんどんみんなの発表がつながります。くわしいものですねえ。

【田んぼを畑にするには？】

の答が見えてきました。最初、友里さんが、「できないのでは？」と？を持ったことです。そのあと、友里さんは、市役所に行って？を解決しました。

1 h a（グラウンド2つ分）の田んぼを畑にするには、2800万円もかかるそうです。
「ええっ」……これにはおどろきの声がたくさんでました。
『どうしてそんなにお金がかかるのに、畑にするの？』
「それでも、もうかるからじゃない。」
「さくらぼって、そんなにすごいんだあ。」 私もびっくりしました！

【ナポレオンを全部切って、さとうにしきにしないのはどうして？】

これには、いろんなわけがあるようです。
「受粉しない」
「時間がかかる」
「うえてから実がなるまでに5年もかかる」
「とる時期をずらすため」……これいい考えだなあと思いました！いっぺんに実がなったら、とてもじゃないけどとりきれませんね。そうか、そうか。
「つぎ木をしてふやすこともできるよ」……葵さんと林くんが言いました。これまたびっくり。こんな方法もあるんですね。

10/21 選挙がおわったぞよ!
感想文 学級賞 おめでとう

10/18 市役所
裏里・表裏・表

1ha (アランド 20分)
5日 / 高い!
2800万円
± 1600万円
アランド 200万円

畑
さくらんぼなど
お金になるから
かえる

ナポレオン
せんべい
切って
さとうにしき
全部 さとうにしきだと
うまい 受かん しない
時間が かかるし 花ふんがいる

5月 6月 7月

交通が
便利になった
生ではこふ
平2年

農林試験場
71種類をつかって
明治から 研究している

さくらんぼの木 30~40年
前 4日間 東京
生食 1回やめた

加工したラウレタ 昭和45年
ナポレオン 工場が
できた

② でも、工場で加工してかんづめにして売られるようになると、さくらんぼ（ナポレオン）がたくさんつくられるようになった。**工場ができた**ことがさくらんぼにとってはラッキーだったんですね。

さくらんぼって、いろんなことに関係しているんだなあと思いました。

一緒に行った子たちが補足するため、彼の日記には書かれていない③が明確な言葉となって発表された。この辺が、集団で調べる強みである。 ➡P13

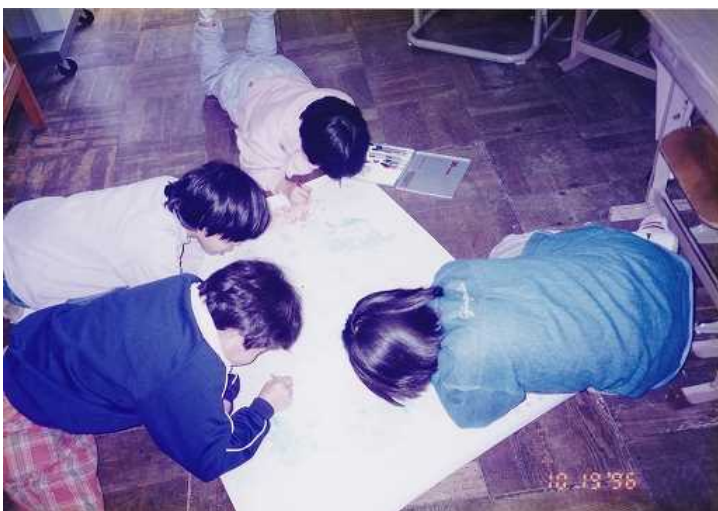
<授業外の取り組み>

19日（土）休み時間を使って市役所の矢萩さんからもらって来た資料（折れ線グラフ）を大判用紙に写してもらった。子どもたちは、社会の学習に算数が出てくることをおもしろがって取り組んでいた。

また、天野まいさんの父親にさがしてもらった市の10000分の1の地図2まい（1枚は昭和38年のもの。もう1枚は、平成3年のもの。）にみんなで空き時間を利用して色ぬりをした。

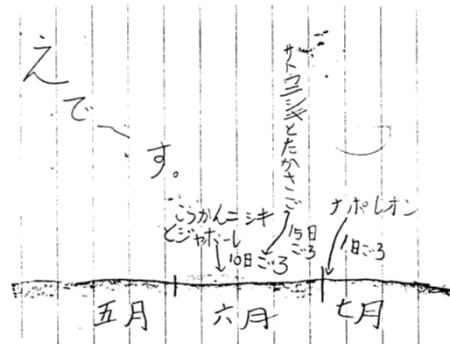
田んぼ → 緑 果樹園 → 赤 桑畑 → 緑

2まいの地図が、どんどん色分けされていく。それとともに、子どもたちの確認してきた市の耕地の移り変わりが見えてくることになった。



10月21日(月)

おばあちゃんにきいたら、あっさくらんぼのことだよー。ジャボレーが1本、こうかにしきが2本、ナポレオンが3本、たかさごが1本です。さとうにしきがすんごくおいしいね〜。さくらんぼの木は50年ぐらいもつそうです。1番ふるいので30年ぐらいの、あたらしい木は10年ぐらいだそうです。そして、ナポレオンとかみわけるには、はっぱだそうです。(辻村美穂さん)



さくらんぼ日記でゴザル。
わたしのおかあさんがはたらいている所で、さくらんぼのことをききました。

- ① さくらんぼの木は何本ありますか？
A、やく120本だそうです。
- ② 何種類ありますか？
A、6種類。佐藤錦・高砂・ナポレオン・きよ光・セネカ・ジョボレー〜
思ったこと こんなに種類あるなんてびっくり
- ③ お手伝いきている人は、何人ですか？
A、12人です。
思ったこと そのなかの1人がおかあさんなんだからすごいな〜
- ④ 何円ぐらい売れますか？
A、木によってちがいますが、佐藤錦で1本からの売り上げが10〜20万円ぐらい。
(武田 梢さん)

37



<さくらんぼの授業⑥> 10月25日 (金)

3つの資料から

10/25 ① ^{うち}耕地面積 広さ
└ 作物をつくる土地

樹園地 ... 果樹園

さくらんぼ リンゴ なし

わかったこと ...

② 重点作目の生産

おうとう = さくらんぼ

わかったこと ...

③ さくらんぼのひみつ

うえている広さ ↗ 広く

『3つの資料』を使って授業をした。

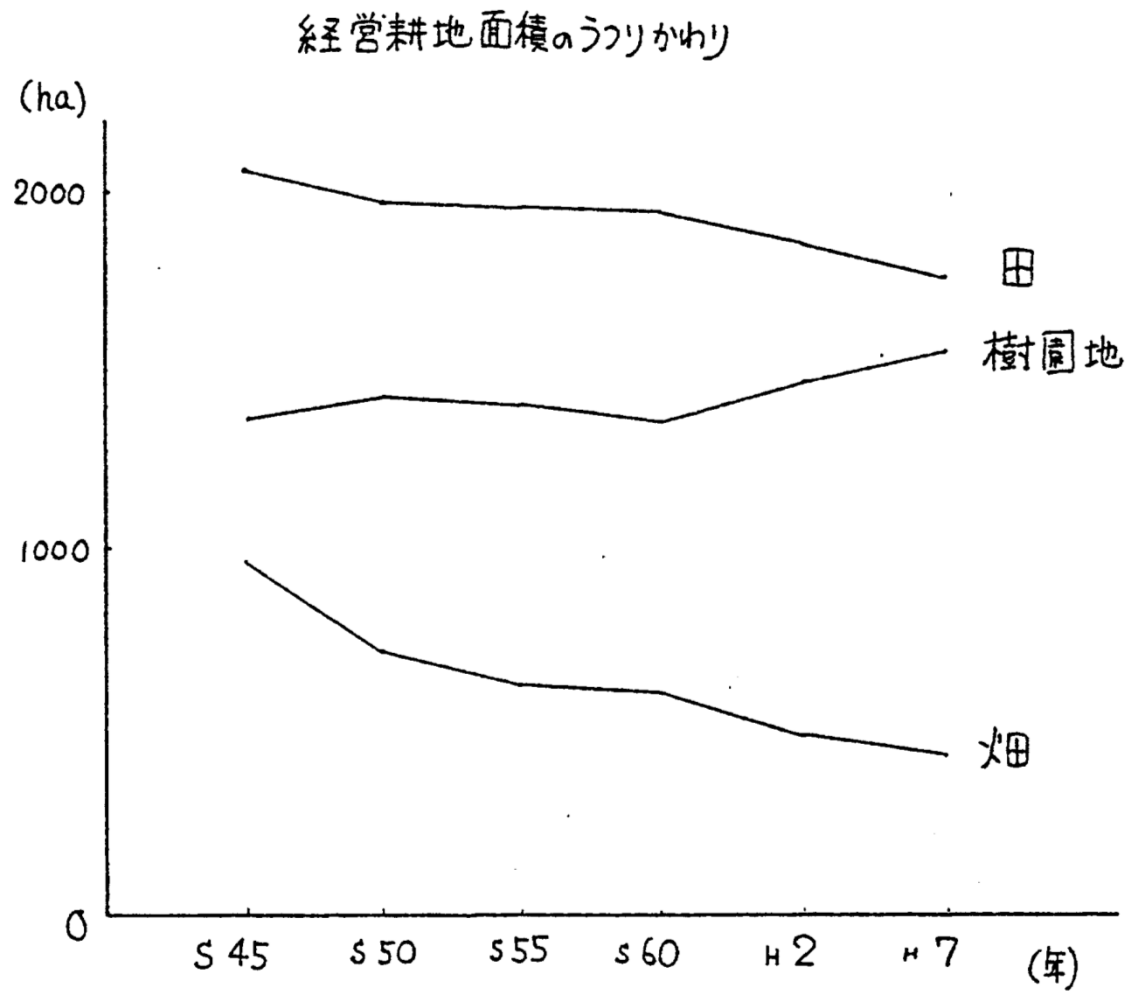
① 【経営耕地面積のうつりかわり】

② 【重点作目の生産の現状】

③ 【品種別栽培面積の推移】と【品種別生産の推移】

①と②は、大判用紙に土曜日に書いてもらったものを黒板に掲示した。

資料①

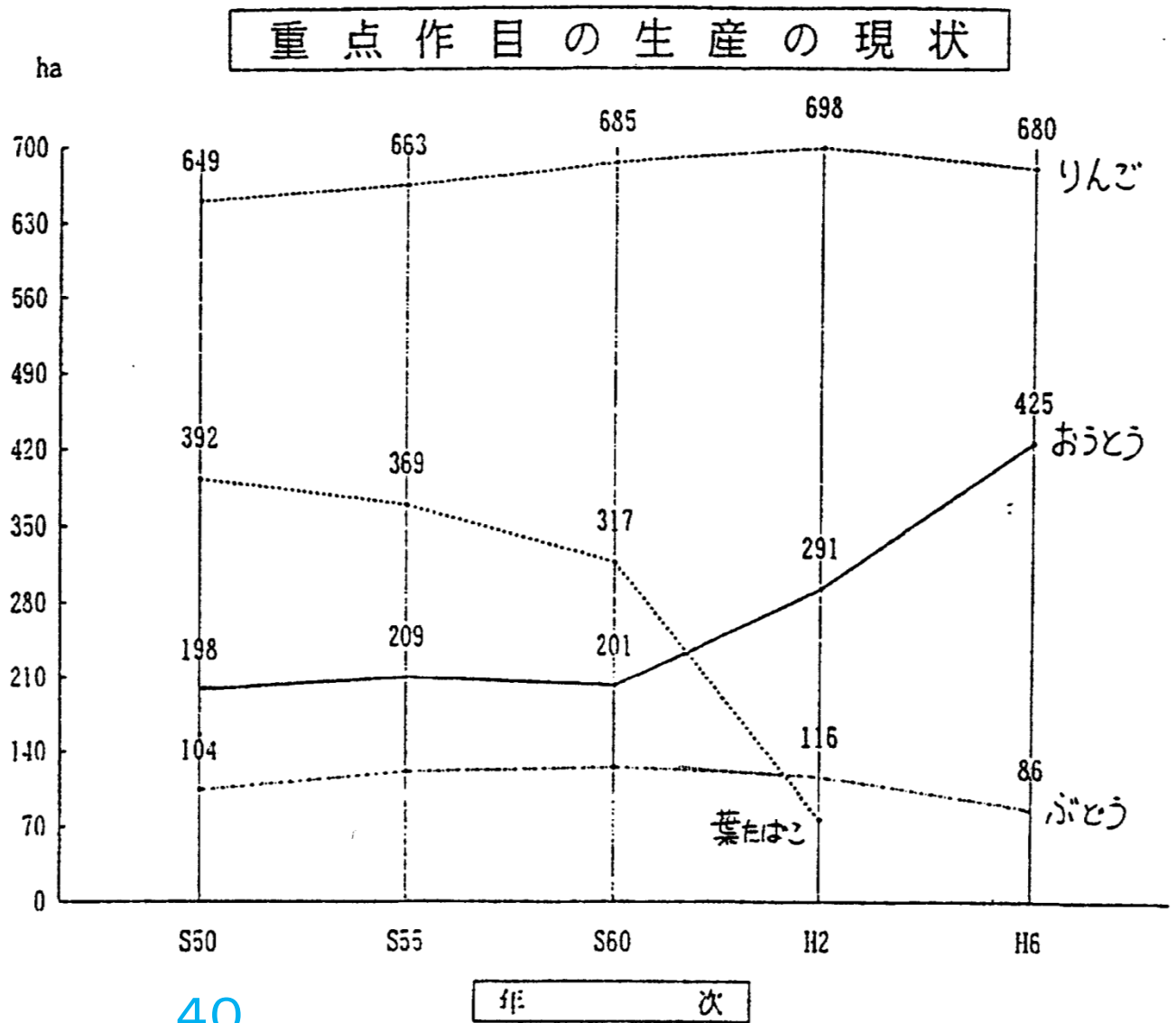


(山形農林水産 計年報)

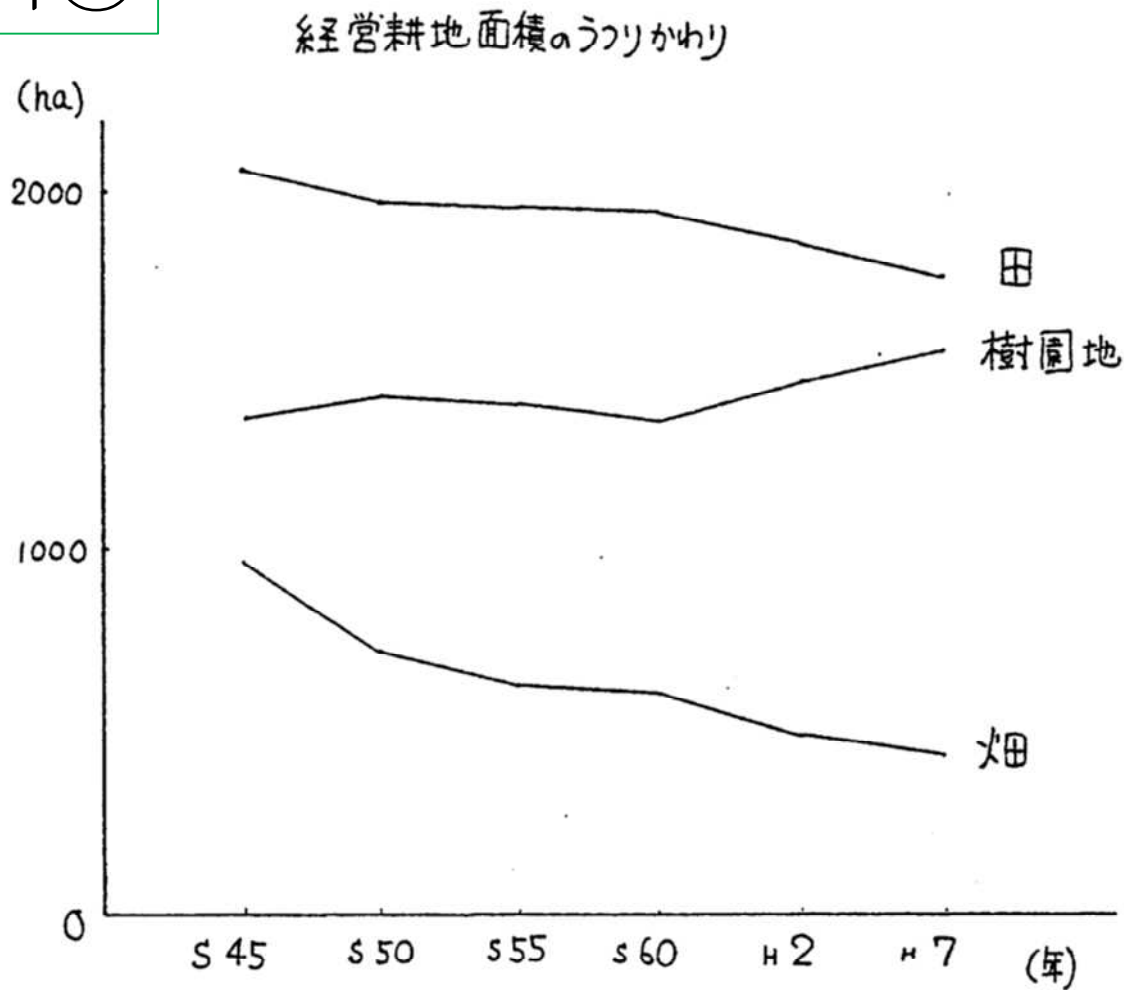


資料②

作付面積



資料①



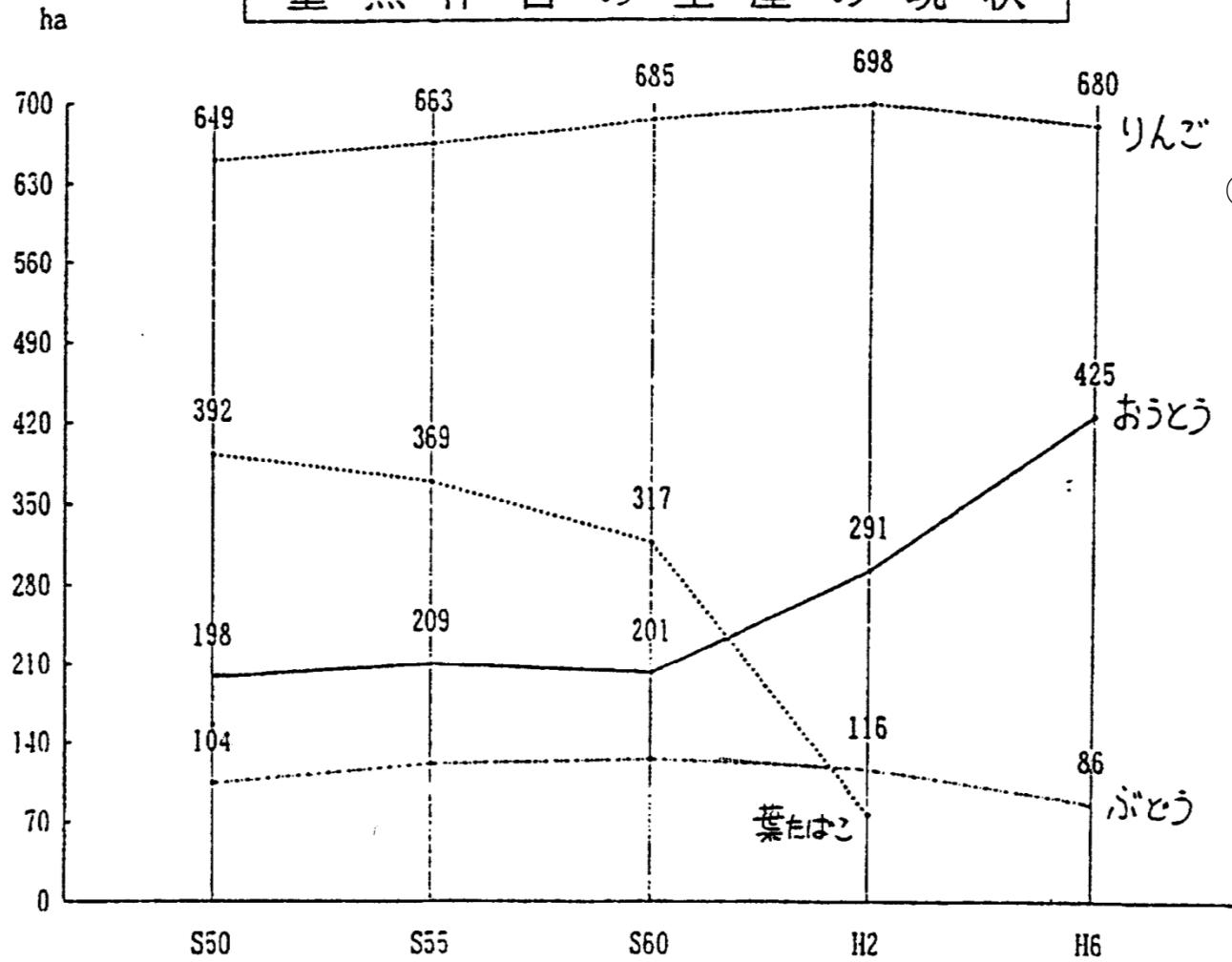
(山形農林水産 計年報)

①からは、
「田や畑は面積がへって、
樹園地（果樹園）だけがふえて
いる」
という発表が多く出た。

資料②

重点作目の生産の現状

作付面積



②からは、
 「おうとう（さくらんぼ）の生産がふえている」
 「葉たばこの線がきれているのは、どうしてか？」
 「葉たばこをやめて、おうとうをうえるようになったのでは！」
 「家も、昔は葉たばこをつくっていたところに、今さくらんぼをうえている」
 グラフからいろんなことがわかってきた。

最後に、③のグラフの載ったプリントを配った。

年次

資料③

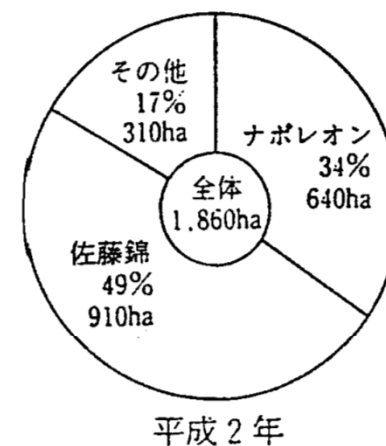
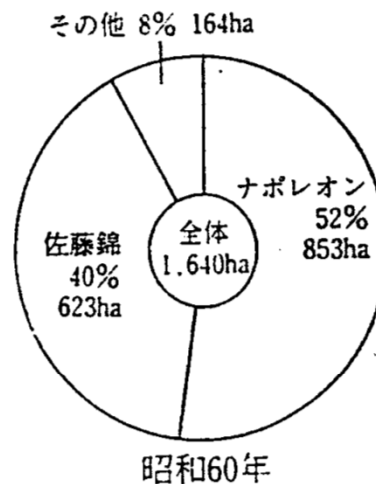
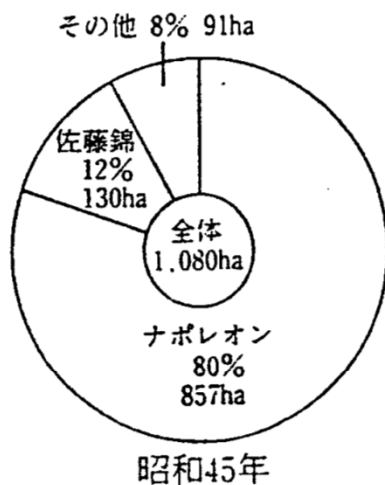


図1 品種別栽培面積の推移

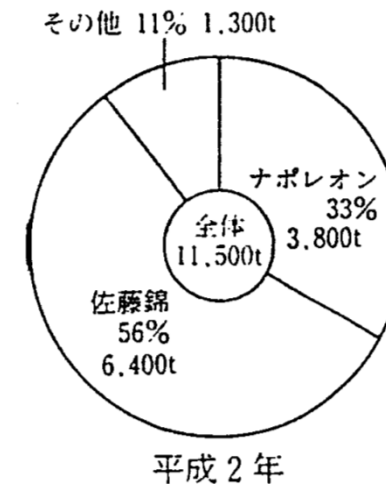
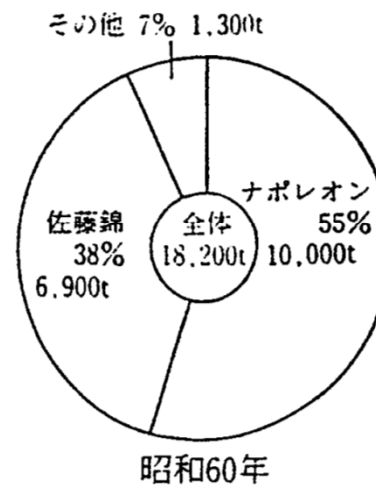
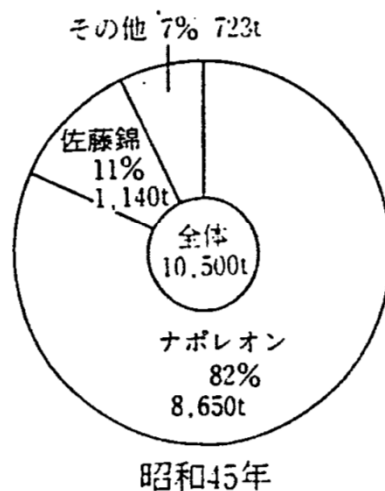


図2 品種別生産量の推移

